校訓　自主自律
学ぶ意欲
思いやる心
行動する力
学校教育目標
気づき　考え　実行する
心豊かな生徒

大地のけやき

第１６号　平成３０年１１月１５日　川越市立寺尾中学校長　福田和子

第42回　合唱祭「完全燃唱」～輝け!金賞を今この手に～　11月5日　ウェスタ川越

３年金賞　２組
「信じる」

２年金賞　４組
「輝くために」

２年銀賞　１組
「君とみた海」

１年金賞　３組
「大切なもの」

今年度の合唱祭もたくさんのご来賓の皆さま、保護者の皆さまにご来場いただき、盛大に開催できました。ありがとうございました。また、現地集合のため、電車での移動、送迎等のご協力に感謝いたします。

３年２組が、学校の代表として川越市小中学校音楽会に出場しました。

「11月　学校朝会」
家庭や地域の願いに応える「守･破･離」の寺尾中三ヵ年教育

先週の合唱祭では、素晴らしい歌声をありがとうございました。

さて、合唱祭のプログラムのあいさつに「私が中学２年のときに指揮者を務めた」ことを書きました。クラスでの練習がうまく取り組めなかったこと、男女での協力がいま一つだったことなどは、今でも鮮明に覚えています。

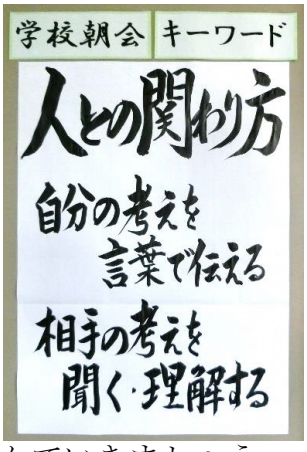
中学校時代の多くの経験は、私が経験したことのようにマイナスだと思うことも含め、これから生きていくための大きな学びとなり、成長するための重要な要素です。

そして、その経験は、かけがえのない、何ものにも代えがたいものであるということです。今年の合唱祭で皆さん自身が、実感したのではないでしょうか。

審査員の先生からのご指導では､各学年が本当によく練習を重ねて当日を迎えたことや、富士山に例えて皆さんの合唱のよさを評価していただきました。

また、体全体を使って表現することで、皆さんの歌が、格段に進歩することも教えていただきました。寺尾中学校の生徒の皆さんが､多くの力を持っているということが､実証できたわけです。

そういった力を更に伸ばすために、人との関わり方について考えてみてください。自分の気持ちを相手に伝えるためには、自分の考えを言葉で伝えることが必要です。そして、相手を理解するためには、相手の考えを聞くことが必要です。



これから、３年生は進路選択、２年生は修学旅行、１年生は社会体験に向けて、それぞれ人、社会と関わることも急激に増えてきます。その中では、自分の考えを言葉で伝えたり、相手の考えを聞いたりすることが必要とされます。そうした活動の繰り返しの中で人と上手に関わっていけるようになってほしいと思います。

日頃の中学校生活でも同じです。クラスや学年の仲間、先輩、後輩との会話や声のかけ方など、その一言を相手がどのような気持ちで受け取るのかを考えてから伝えることで人との関わり方を学んでいきましょう。

今、時代は、ＳＮＳが大幅に拡大し、人との直接の対話が乏しくなってきています。しかし、私たち人間は、人と直接、会話し、コミュニケーションをとることで豊かな人間関係をつくることができます。目の前にいる相手のことを考えて言葉を発信してください。そして､相手の思いを感じ取ろうと理解しようという気持ちで相手の言葉を聞いてください。２学期の後半戦、「気づき　考え　実行する　心豊かな生徒」として更に一歩前進していきましょう。

寺 尾 中 生 徒 の 活 躍

～合唱祭（練習、寺尾小音楽朝会）、落ち葉掃きボランティア、日頃の学校生活から～

入間郡市同和対策協議会　入間地区人権教育推進協議会主催標語
入選　１年生　「笑顔の輪　広げていこう　自分から」

１０月２２日から始まった、落ち葉掃きボランティアは、毎朝、２０分間、正門周辺や昇降口周辺で活動しました。

昇降口の靴箱は、いつも整頓され、各学年ともくつのかかとがそろっています。

３年生の理科の学習で「太陽の動きの観察」を理科実験助手の先生に指導を受けながら行いました。

合唱祭に向け、各学年ともに熱心に練習に取り組みました。昼の放送では、合唱祭実行委員が抱負を発表、寺尾小学校の音楽朝会では、３年１、３組が合唱を披露しました。